

国産材と 都市環境シンポジウム

～国産材を活用したヒートアイランド対策～

これまでの都市建築では木材、特に国産材はほとんど使用されていないのが現状です。そこで、都市部での木材利用と都市環境の改善をテーマに、ヒートアイランド現象の抑制効果について、国産材を用いた実例の紹介を交えながら議論をすすめます。

2011年2月23日(水) 開催

会場

砂防会館別館 木曾

(東京都千代田区平河町 2-7-5)

13:30～16:30

参加費無料
定員 200名

プログラム

13:00 受付

13:30 開会の挨拶

13:35 基調講演

「ヒートアイランドの構造と対策の考え方」水野 稔 (大阪大学名誉教授)

14:10 ①「ヒートアイランド対策効果の見える化」鳴海大典 (横浜国立大学准教授)

②「木材と都市ランドスケープ」河井敏明 (河井事務所)

③「都市、公共建築物への木材利用」澁上和之 (林野庁木材産業課長)

..... (14:55～15:05 休憩)

15:05 ④「都市建築での国産材の使い方」越井 潤 (越井木材工業(株) 代表取締役)

⑤「木材によるヒートアイランド対策効果」吉田篤正 (大阪府立大学教授)

15:35 パネルディスカッション

テーマ：都市建築への木材利用と都市環境

コーディネーター：水野 稔 (大阪大学)

パネラー：吉田篤正 (大阪府立大学)

河井敏明 (河井事務所)

澁上和之 (林野庁)

越井 潤 (越井木材工業)

16:25 閉会の挨拶

※プログラムは予告なく変更する場合がございます。

主催 国産材を活用したヒートアイランド対策協議会

後援 (予定) 林野庁、(社)日本木材学会、(社)日本建築学会、(独)森林総合研究所、(社)日本木材保存協会、(社)日本木材加工技術協会、日本ヒートアイランド学会、(社)空気調和・衛生工学会、大阪ヒートアイランド対策コンソーシアム、(財)日本住宅・木材技術センター



国産材を活用したヒートアイランド対策協議会

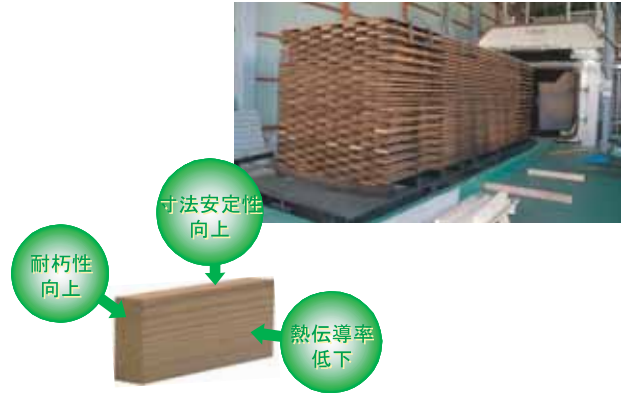
※この協議会の活動は、平成21年度林野庁地域材利用加速化緊急対策支援事業「屋上木化等の外構材による環境貢献度調査」に採択されています。

産官学連携で、木材によるヒートアイランド対策に取り組んでいます。
 国産材（特にサーモウッドなど）で建築物を被覆し、蓄熱しやすい
 コンクリート面への日射を防ぐことで、建物内部の負荷の軽減が
 見込めます。それらを実大モデルで検証し、街への効果を図ります。



「腐りにくい」「反りにくい」「割れにくい」 木材の常識をやぶる新素材サーモウッド

サーモウッドとは、薬剤を一切使用せず、熱と水蒸気だけで加工した木材のこと。熱により木材の組織が変性し、耐久性（腐りにくさ）と寸法安定性（狂いにくさ）が向上します。厳しい条件の屋外はもちろん、薬剤を使用していないので人やペットが触れる場所にも安心して使えるほか、耐久性が向上することで、木材内に二酸化炭素を長期間固定することができ、地球温暖化防止にも繋がります。国産スギ材をはじめ地域産材の付加価値向上に最適な新技術です。



参加ご希望の方は、下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

FAX. 06-6685-5537

申込締切 2月16日 (水)

お問い合わせは

 ヒートアイランド対策協議会事務局
 (越井木材工業 技術開発室内)

TEL. 06-6685-3180



地下鉄永田町駅（有楽町線・半蔵門線・南北線）4番出口 徒歩1分

参加申込書

複数名ご参加の場合は、人数分ご記入くださいますようお願い致します。

氏名	TEL	
	FAX	
住所	〒	
会社名 団体名	業種	<input type="checkbox"/> 都・市町村 <input type="checkbox"/> 木材・製材 <input type="checkbox"/> 林業 <input type="checkbox"/> 工務店・ハウスメーカー <input type="checkbox"/> 設計事務所 <input type="checkbox"/> その他（ ）